〔和漢三才圖會（九十四末濕草）〕水蓼　虞蓼　澤蓼

本綱、水蓼生下濕水澤中、葉似馬蓼、大于家蓼、而長五六寸、莖赤色水挼食之勝于蓼子、

〔重修本草綱目啓蒙（十二隰草）〕水蓼　増、一名辛菜（説文）

二種アリ、釋名註馬志ノ説ニ、生于淺水澤中ト云フハ、カハタデ、一名ミヅタデト呼ブモノニシテ、陸草ニ非ズ、城州下鴨泉河ノ中ニ多ク生ズ、葉ハヤナギタデヨリ細クシテ長シ、味至テ辛シ、食用ニ可ナリ、又時珍ノ説ハ、ヲホイヌタデト呼ブ草ナリ、水旁ノ陸地ニ多ク生ズ、苗高サ五六尺、葉長サ七八寸、濶サ一二寸、背ニ微シク毛アリテ糙澀ス、秋穗ヲ生ズ、常ノタデヨリ粗大ニシテ淡紅色、又白色ノアリ、又葉ノ中央ニ墨記相對スルモノアリ、

〔夫木和歌抄（二十八蓼）〕たで　光俊朝臣

うき世には身をのみつみし水たでのからきめにこそなみだおちけれ

後光明峯寺攝政

水たでのほづみにかよふ村とりのたちゐにつけて秋ぞかなしき

〔本草和名（九草）〕葒。草。（仁諝音紅）一名鴻䕻（仁諝音胡結反）一名遊龍、一名龍古草（已上二名出陶景注）和名以奴多天、

〔倭名類聚抄（二十草）〕葒草　陶隱居本草注云、葒草一名遊龍、（葒音紅、和名伊沼多天、）

〔醫心方（一）〕葒（音紅、和名伊奴多天、）

〔類聚名義抄（八艸）〕葒（音紅、イヌタデ、）　葒草（同）　遊龍（イヌタテ）

〔伊呂波字類抄（伊殖物）〕葒草（イヌタテ、亦作蒁、）　茳草（イヌタテ）　水蘇　鴻䕻（仁諝音）　遊龍　龍古草（已上二名出陶景注、見于本草也、已上二名イヌタテ、）

〔易林本節用集（伊草木）〕葒草（イヌタデ）

〔和漢三才圖會（九十二末濕草）〕葒草（○中略）和名伊沼多天（○中略）